



県及び町学力・学習状況調査が終わりました

12月2・3日に、町及び県学力・学習状況調査を実施しました。全学年が対象ですが、1・2年生は国語と算数、3～6年生は国語、算数、理科、社会のテストに取り組みました。テストに備え、学校で復習を行ったり、家庭学習で課題に継続的に取り組んだりしました。現在、学習指導要領では、「思考力・判断力・表現力等」の育成を重視しており、こういったテストも単純な一問一答式の問題ばかりというわけではなく、考え方を問うたり、理由や根拠を説明させたりするものが多くなっています。予測困難な時代においては、自分なりに考えを構築し、「最適解」や「納得解」を導き出せる力が求められているからです。子供たちには、自分の考えを持つだけでなく、それを整理して相手に分かりやすく伝える力も益々必要になってくるでしょう。そのようなテスト問題とにらめっこしながら、全力で鉛筆を走らせる子供たちでした。（身に付けさせたい資質・能力の「考えを深め、表現することができる力」に関係します。）



前途洋々

菊陽町人権子ども集会から

12月4日（土）の午前9時から、町内の各学校において、リモートで実施されました。本校では、児童21人が参加しました。本集会の目的は、部落差別をはじめとするあらゆる差別をなくすため、人権意識の高揚を図ることなどです。町内の児童・生徒による活動の発表・作品の紹介等がありましたが、どのような学習を各学校でしてきたか、自分はどのように考えたかなど堂々と発表する内容ばかりで、心から感心しました。最後に、集会宣言文が採択され、宣言として次の三つにまとめられました。

- ◎ いじめや差別を他人事ではなく、自分のこととして考え、自分の行動を振り返っていきます。
- ◎ 自分の思いを伝え合い、つながり合うことでいじめや差別をなくす行動をしていきます。
- ◎ お互いのことを知り合い、いじめや差別を許さない仲間をつくっていきます。



子供たちは2時間、真剣に発表を聞き、お返しの文をまとめていました。明日からの生活に早速生かしてほしいと思います。



本番前、リハーサルをする
人権委員会の子供たち

画面に真剣に見入る子供たち



（身に付けさせたい資質・能力の「自分や人を大切にし、他者とつながることができる力」に関係します）

あらためてお願い ～車の乗り入れについて～ 危険を回避するために

最近寒さが一段と厳しくなり、先月に比べ、児童の送迎をされているご家庭が若干多くなってきているように思います。以前も触れた話題なのですが、正門前に上っていく坂道付近は、朝、学校奥付近にお住まいの地域の方の車、給食関係の業者の車、徒歩で登校する子供たち、バスから降りてきた子供たち、送ってこられた保護者の車で錯綜します。また、自転車や速いスピードで走り抜けていく車も少なくありません。時折「危ないな」と感じる場合がありますので、その付近（特に坂道付近）を運転される場合は十分減速していただきますようお願いいたします。正門から下って左右に曲がるところも案外見通しが悪いところです。「子供がいるかもしれない」という予測を常にお願ひします。

